

令和2年度自己評価結果

あさま幼稚園

1. 本園の教育目標

園児一人ひとりにゆきとどいた保育をおこない「明朗闊達で感性豊かな子ども」を育てること

2. 2年度、重点的に取り組む目標・計画

保育者の専門性への向上と、子どもが自ら考え行動できるようになるための関わり方

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
幼稚園の教育目標と重点目標の周知	B	園の教育目標を園だよりにして載せたり、保護者集会などで園長が説明をし、周知をはかる。
危機管理体制の整備	A	危機管理マニュアルを作成して年に数回、火災・地震・不審者訓練を行っている。
家庭、地域、関係機関への情報発信	B	園だより学級だより、ホームページにて園の様子を伝えている。
教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解	B	毎年指導計画を見直し、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。
発達段階に則した適切な幼児理解・環境	B	各クラスで月・週案を作成、一日の終わりに一人ひとりの保育日誌に記入、子どもの実態を把握し、次に繋げている。
幼稚園と小学校との円滑な連携	B	小学校の先生方の保育参観、近隣の小学校との交流会を通して、幼稚園の様子、小学校の教育内容について理解を深める。
教員の資質向上、研究・研修の充実	B	各種研修や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会等において提供し、全職員が今後の保育に生かしている。月1回の園内研修においてさらなる充実した保育を目指している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	感染症(新型コロナウイルス)の拡大により今年度は研修、小学校との連絡会、保護者参観など縮小した。感染対策を徹底し子どもたちの健康面での配慮に全力を尽くした。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
健康な心と体	ウイルスに打ち勝つための衛生面と食事面への配慮
豊かな感性と表現	感じたことや考えたことを自分で表現したり、表現する喜びを味わい意欲につなげる

6. 3年度、重点的に取り組む目標・計画

遊びを通しての総合的な指導(遊びに没頭し、次々に活動がつながっていくような保育)

7. 学校関係者の評価

コロナウイルスのため園公開ができず、親子の関わりが少ないなかでも情報を細かく知らせ、園との関係げていってほしい。
先生方が頑張って保育に取組み現状のままやっていただきたい。

3.4の評価結果基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である